

令和 8 年度 那賀町議会議員派遣成果報告書

- 日 時：令和 8 年 8 月 2 0 日（木）～ 8 月 2 1 日（金）
- 研 修 地：日本大学法学部
- 研 修 名：「生成 A I 時代の地方議会を考える」
- 参加議員：柏木 岳

【考察】

議会が大きく変わる可能性を感じたと同時に、危機感、焦燥感、敗北感も味わった研修だった。暮らしの課題解決法や論点整理に至るまで生成 A I が行ってくれる時代に既に突入していることを実感し、また現実全国の地方議会のライバルや仲間たちはそれぞれで独自の活用方法を具現化し始めていることも理解した。当然、人工知能に取って代わられる議会分野は出てくるし、そこを有効活用したうえで生身の議員として何ができるのか、行わなければならないのか。それは整理された情報を吟味したうえで、また住民の意見集約を行い、合意形成の間を取り持ち、そして最後に方針を決定するということこそが求められる役割として再認識される。

しかし、「現状の議会は議決に責任を持てているのか」という問いには、反論の仕様がなない。一人の議員として、納得できないものに対しては、修正案提出や反対の採決行動を示してきたとしても、組織として議決責任を取り切れていると言えるに値する仕組みづくりは十分でない。生成 A I を議会において事務量の省力化のみから脱却させるための形式と併せて、議会が本来求められる権能の捉え方、それを可視化させる取組の深化、さらに議員や住民意識の変革を図ることに仕切り直しを告げられた思いで、襟を正された。

那賀町議会議員 柏木 岳